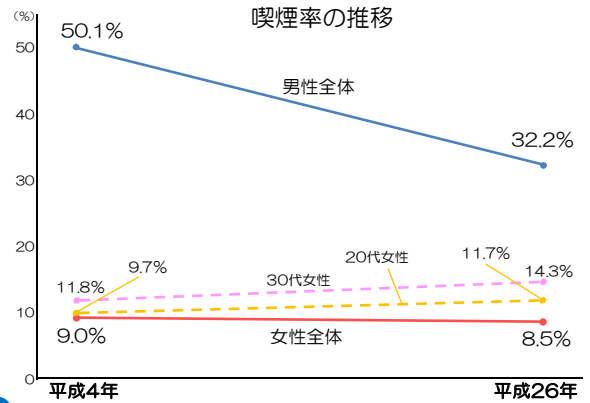


## 5. たばこが妊娠や赤ちゃんに与える影響

平成4年から比べると、男性の喫煙率は大きく減少していますが、女性の喫煙率は横ばいです。特に、妊娠する機会が多い20代・30代の女性については、喫煙率が増えています。

たばこは、妊娠やお腹の赤ちゃんに影響を与えることが分かっていますので、将来生まれてくる赤ちゃんのためにも、禁煙は大切です！



### ● 妊婦への影響

#### 流産

妊娠中にたばこを吸うと、吸わない場合と比べて、**流産の確率が2倍**、**早産の確率が1.5倍**高くなると言われています。

#### 常位胎盤早期剥離

妊娠中にたばこを吸うと、胎児が生まれるより先に胎盤がはがれてしまう、**常位胎盤早期剥離が起こりやすくなる**と言われています。これにより、**胎児仮死や胎児死亡**だけでなく、**妊婦さん自身も死亡**してしまふことがあります。



#### 低出生体重児

妊娠中にたばこを吸うと、吸わない場合と比べて、出生時の体重が平均して**100g以上少なく**、**低出生体重児の確率も2倍ほど高くなります**。  
低出生体重児は、将来**肥満**や**糖尿病**等になりやすいことも分かっています。

#### 今から禁煙しても…遅くありません！

妊娠3-4か月までに禁煙すると、低出生体重児を産する確率はたばこを吸ってない妊婦のレベルに近づきます。早産等のリスクも下がりますので、今すぐ禁煙しましょう！  
妊娠を考えている人は、将来出会う赤ちゃんのために、今から禁煙を考えましょう！

### ● 赤ちゃんへの影響

#### 乳幼児突然死症候群

赤ちゃんが前触れもなく突然死亡してしまう**乳幼児突然死症候群**。ママの妊娠中の喫煙でそのリスクが高くなります。生まれた後にママやパパがたばこを吸っていてもリスクは高くなります。



#### 発達障害

妊娠中にママがたばこを吸うと、胎児への血流が悪くなり、**低酸素状態**になります。すると、胎児の身体的機能が十分に発達されず、**ことばの発達の遅れ**や**発達障害**等に影響すると言われています。

#### 誤飲

たばこ1本のニコチン含有量は、**乳児の致死量に匹敵**します。赤ちゃんは、ママやパパの真似をするので、いつもママやパパがたばこを口に運ぶ姿を見ていると、ますます誤飲の危険は高くなります。副流煙の危険もあるため、赤ちゃんの前では、たばこを「**吸わない・置かない**」ことが原則です！

### ● 経済的な影響も・・・



赤ちゃんが生まれると、おむつ代やミルク代など、いろいろお金がかかります。新生児期の赤ちゃんの1か月のおむつ代は約4000～5000円と言われています。例えば、1箱450円のたばこを1日1箱（20本）吸うと、1か月のたばこ代は**13500円！**1か月のたばこ代だけで、約3か月分のおむつが買えます！

